

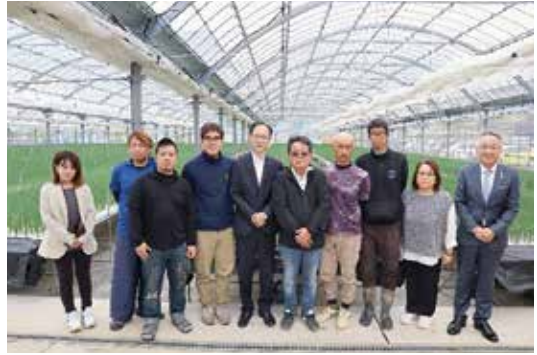


上原農園(株)は、年間を通じて出荷可能な「小ねぎ」を栽培している農業法人です。平成18年にみかん農家から転換し、市場を通さない青果・加工向けの契約栽培へ移行して生産規模を拡大し、現在では県内4か所のグループ全体で4.7haの大規模経営体に成長しています。

懇談では、法人設立までの経緯やこれまでの取組、今後の展望等についてお聞きしました。小ねぎの出荷先は、県内をはじめとする九州圏はもちろんのこと、大分空港に近い立地条件を生かし、空路を活用して関東圏にも商品を卸しているそうです。関東への販路拡大にあたっては、大変な営業努力が必要であったとのことで、東京都内では、すでに販路を構築していたバナナ取扱業者の協力を得て、スーパーへ配送するなど、経費を抑えるために独自の工夫もされているそうです。

今後は売上高のさらなる向上を目指し雇用の拡大を図るほか、働き方改革による完全週休2日制の実現や障がいのある方を雇用する農福連携への取組、空港に近い立地を生かした観光農園の開設などの展望をお聞きしました。

大分県にとって非常に重要な産業である農業分野において、熱意を持って先進的な取組に挑戦していただいていることに感謝を申し上げ、今後も市と連携して支援したいとお伝えしました。



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名: おおいた園芸産地づくり支援事業

事業概要: 市町の「園芸産地づくり計画」に基づき認定農業者等が行う栽培施設の整備等
産地拡大推進品目(市町の産地戦略に基づく品目)

補助率 1/2(県1/4 市町1/4)

地域担い手支援品目(生産者の経営拡大計画に基づく品目)

補助率 1/5以内

予算額: 13億9,210万円

☆事業名: 【特】園芸基幹品目産地づくり加速化事業

事業概要: 園芸基幹品目の産地拡大を加速させるため、認定農業者等が行う栽培施設の整備等

補助率 2/3(県1/3 市町1/3)など

予算額: 3億8,489万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」